

「市町村子ども・子育て支援担当者研修会 ～妊娠期からの切れ目ない支援をめざして～」実施概要

【目的・概要】

- ・虐待児の半数以上が就学前児であり、市町村の虐待対応件数は増加している。
- ・子育ての課題が多様化する中、親子に身近な市町村が、**児童虐待の未然防止となるよう、妊娠期から子育て家庭へ切れ目なく、きめ細やかな支援ができる体制の整備・充実が重要。**
- ・そのため、**核となる市町村子ども家庭総合支援拠点及び子育て世代包括支援センターの設置促進を目指し、研修会を実施。**
- ・実施にあたっては、市町村の母子保健をはじめとする、子ども・子育て支援の担当部署に参加を呼びかけ、今後の施策に必要な考え方を学び、それぞれの役割を認識したうえで、効果的な連携方法を話し合った。

【参加者の声】

- ・同じ市でも担当課の場所が離れているので連携しにくいのが課題。
- ・他職種同士の役割認識や理解が必要だとわかった。
- ・市町村のトップが必要性を理解すれば設置は進む



【実施概要】

日 時：令和元年 6月 7日（金） 13時30分～16時00分

場 所：奈良県社会福祉総合センター 5階 大会議室

参加者：87名（担当課：子育て支援・児童虐待対策・母子保健）

主 催：女性活躍推進課・こども家庭課・健康推進課（県保健所）

内 容

1 子ども・子育ての現状とこれからの子育て支援についてについて

2 講演会

テーマ「現在の妊娠・出産・子育て事情と市町村の役割」

講師：地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター

母子保健情報センター 顧問 佐藤拓代 氏

3 グループワーク：「連携を視野にそれぞれの役割を知る」

○10月実施予定 市町村子ども・子育て支援担当者スタッフ向け研修会